

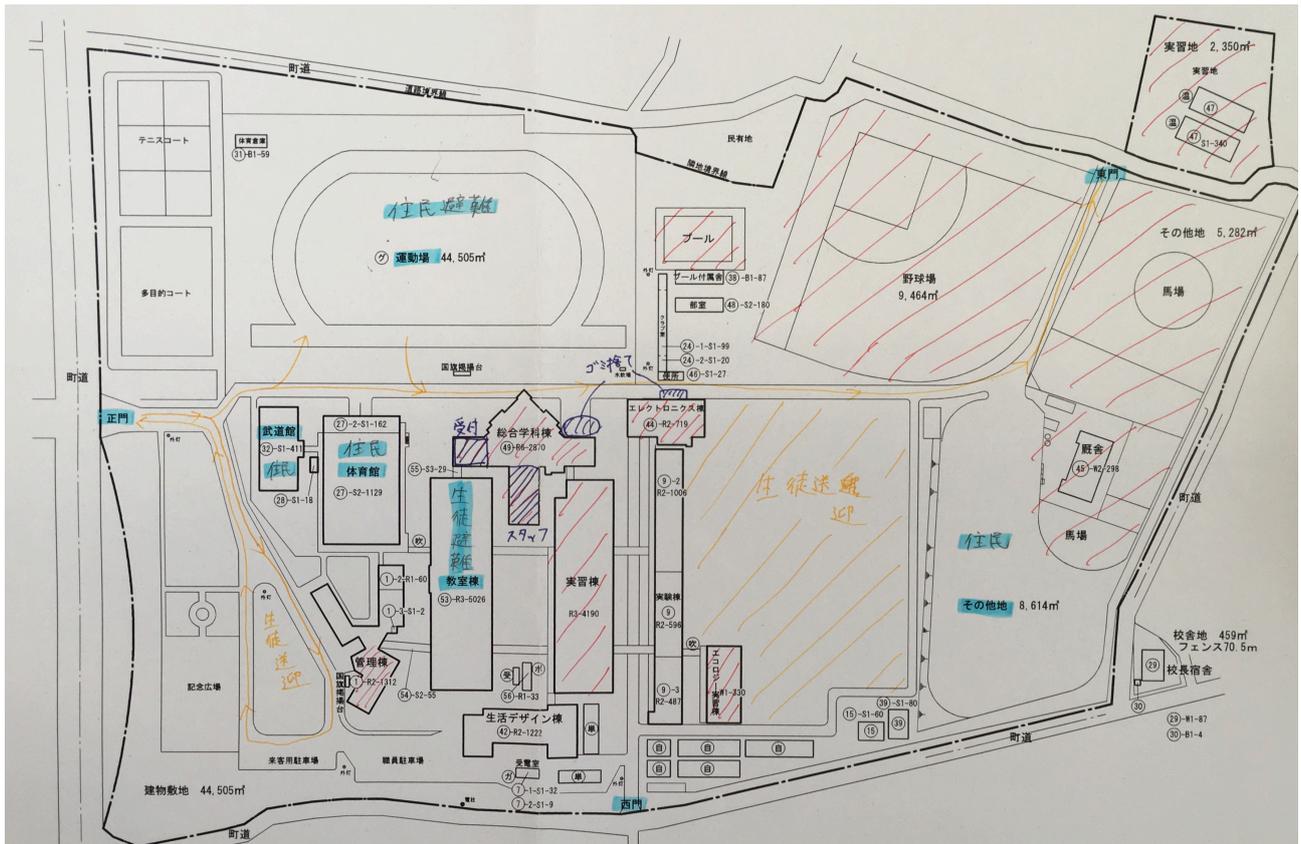
翔陽高校における 避難所運営マニュアル



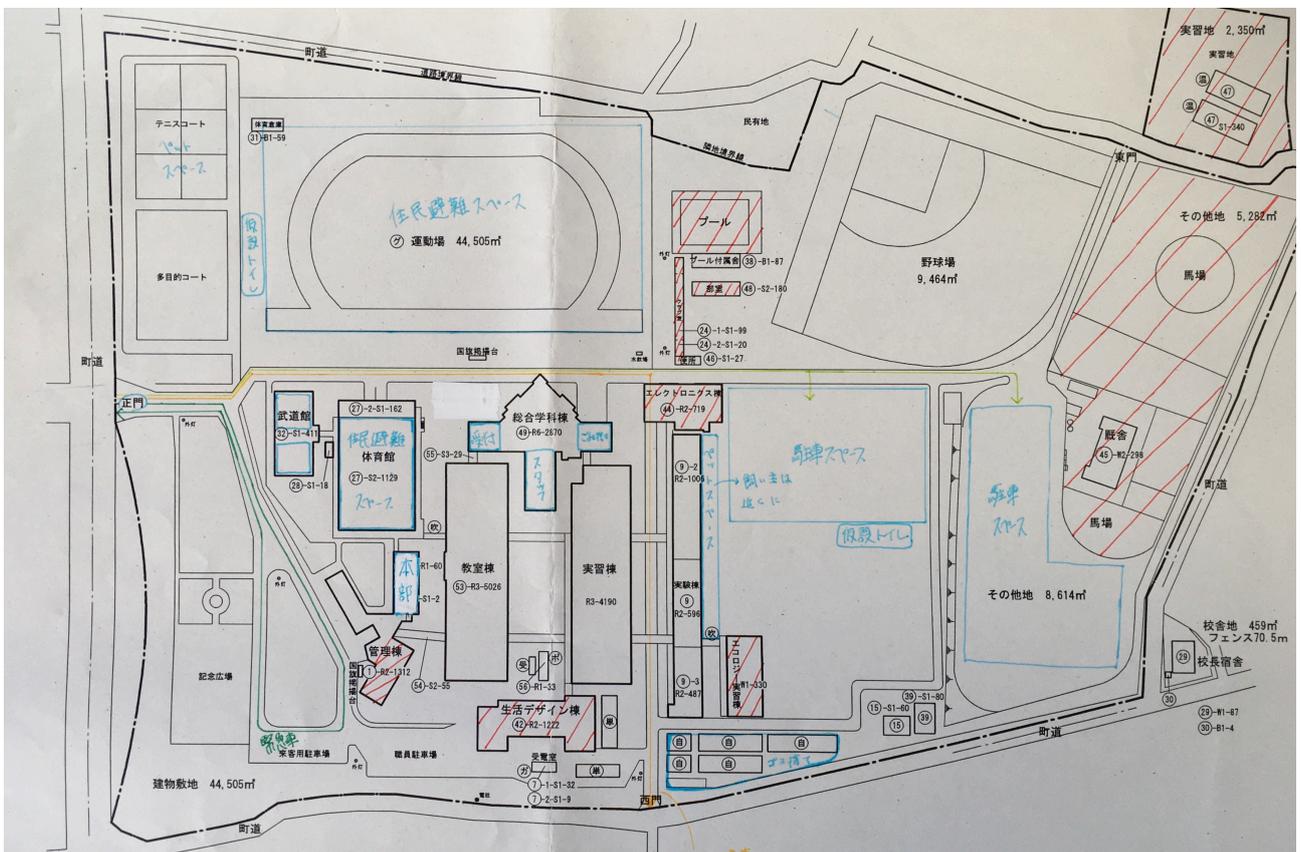
令和2年（2020）9月
熊本県立翔陽高等学校

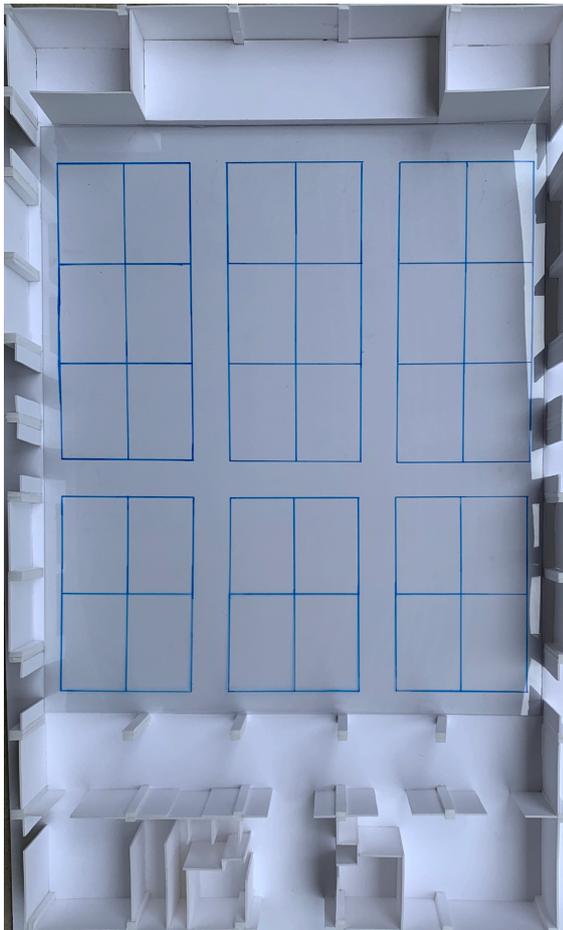
建築課題研究班

災害発生直後（生徒在校時）

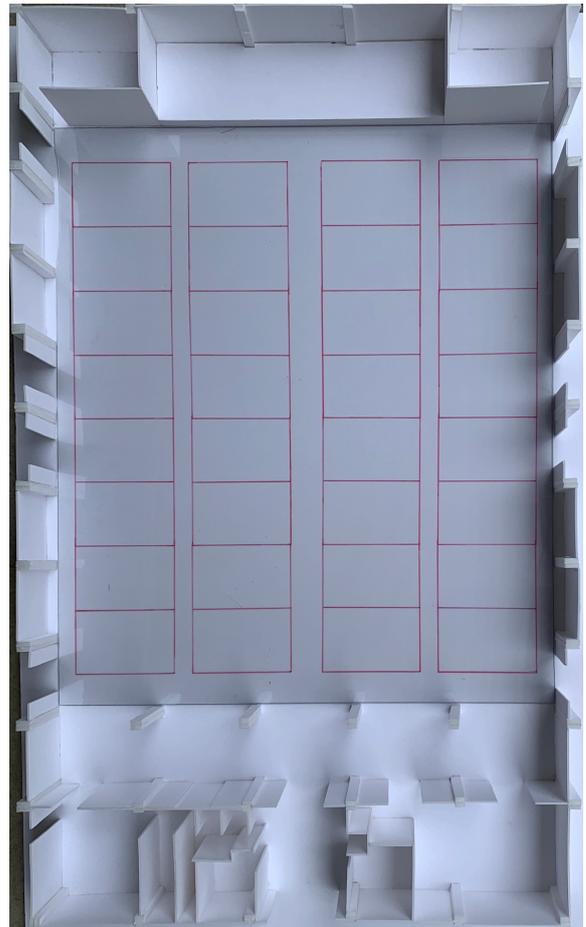


災害発生直後（生徒不在時）





体育館テント配置計画（30張）



体育館テント配置計画（32張）

○受入可能人数算定方法

〔長辺-2〕÷3.6×〔短辺-1〕÷〔5.3+1〕=設置可能なテントの張数
 (設置可能なテントの張数)×4=受入可能人数

翔陽高校体育館収容可能人数

1人あたり約2㎡：806人

テント30張り配置：120人（上記写真左）

テント32張り配置：128人（上記写真右）(テント一つに4人)

○備蓄品

食糧等備蓄品：学校には無いが大津町の備蓄倉庫にある

マスク・消毒液：避難者各自で持参

避難所における新型コロナウイルス感染症対応 確認事項

1 避難所開設の事前準備

- 避難所で十分なスペースが確保できるようにしている。
- 管轄保健所との相談・連携体制を構築している。
- 感染防止対策に有効な物資・資材の確保を行っている。
- 要配慮者への対応を検討している。
- 避難所運営担当職員に対する研修及び訓練を実施している。

2 避難所における感染防止対策

- 入所時には手指の消毒・体温計測を行い、受付票の内容及び聞き取りにより健康状態を十分に確認する。
- 定期的に換気し、避難者間のスペースを十分に確保する。
- マスク着用を原則とし、手洗いや咳エチケット等の基本的な感染症対策を徹底する。
- 消毒液を避難所の出入口、トイレ周辺等に設置し、手指の消毒を徹底する。
- 定期的に清掃し、物資等も定期的、および目に見える汚れがあるときに家庭用洗剤を用いて清掃するなど、避難所内の衛生環境を整える。
- 物資配布時間を細かくするなどして、避難所内での密集・密接を回避する。
- 内履きと外履き（土足）エリアに区分する。

3 避難所の健康管理

- 避難所内には保健師等を配置又は巡回させ、避難者の健康状態を定期的に確認する。

4 車中泊など避難所外避難者への対応

- 集約場所の確保や避難者の効率的な把握体制の構築を図っている。

「避難所へ避難する際の注意事項（新型コロナウイルス感染症への対策）」

（熊本県ホームページ） 参考